

- ・空腹を忘れるために (杉浦 良)
- ・お知らせ (太陽光発電による自給自足達成、青年長期ボランティア活動開始、NHKで活動紹介)
- ・ボランティア雑感 (西村 洋平)
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2008年5月 125号

— 「空腹を忘れるために」 —

杉浦 良

3月の末、ケニヤから松下照美さんと、地元で弁護士をしているボビーさんが徳島に来られました。徳島出身の松下照美さんとは随分長い付き合いになりますが、遠く離れたアフリカ、ケニヤの地で、骨を埋めることになるだろうという予感を今回感じました。松下さんはケニヤでNGOモヨ・チルドレンセンターを立ち上げました。路上生活をする子供たちの支援を、限界はあるにせよ、やれる範囲内でコツコツやろう

としています。長年の理解者である映画監督小林茂氏に、ドキュメンタリー映画「空腹を忘れるために」(仮題)を撮ってもらうことで、ひとつの区切りをつけるのでしょうか……。

『本当に偉いわ。12才のお兄ちゃんが、たくさんいる弟妹のために食事を作るんですよ。ご飯！お茶！と言うだけで、紙くずをゴミ箱にも入れられん、家(うち)とはえらい違いや！』先日『毎日が戦争！？七男



値札のスタンプ印字作業

四女爆笑ビンボー大家族！・・・超元気わんぱく兄弟・・・食費は1食85円！？・・・』と記されていた四国放送テレビの番組の感想です。お父さんがトレーラーの運転手で、当然ながらお母さんは子育てにてんやわんや、子供達が日常生活をたくましく生きる、1700日間の記録だそうです。食べることに精一杯の時、生きるたくましさが全身からほとぼしり、今の日本を照らします。この前、ケニヤで活動するNGOモヨ・チルドレンセンターを中心にした、ドキュメンタリー作品『空腹を忘れるために（仮題）』の完成直前のデモ映像を見る機会がありました。モヨ・チルドレンセンターを主宰する松下照美さんは、徳島での陶芸活動後、ウガンダやケニヤに渡り、ストリートチルドレンと呼ばれる、路上生活を余儀なくされた子ども達の支援に関わってきました。その日常や背景を、ドキュメンタリー映画監督の小林茂氏が追うというものです。貧困やエイズそして都会への憧れなど、様々な問題で子ども達が路上生活を始めます。食べるために、鉄くずやプラスチックを拾ってお金に換えたり、物乞いをしたりして、その日を過ごします。手に入れた食料を自分たちで調理して、みんなに分け合います。寒さを逃れるため、路上で身を寄せ合っの雑魚寝です。寒さや空腹を忘れるために、シンナーを吸って紛らわす子供もいます。そんな日常を淡々と映像は拾っていきます。厳しい現実の前で絶望があたりを包み込み、それを押し破るように子ども達の踊りが始まります。空き缶のドラムが、子ども達

の体を震わせ、踊りは夜空に盛り上がります。足らないことで子ども達の生きていくエネルギーがほとぼしりとしたら、飽食の日本は生きるエネルギーが衰退し、むしろ希望は失われていくというパラドクスが、そこから読み取れました。」・・・こんなふうにも新聞に雑文を書かせていただきながら、太陽と緑の会リサイクル作業所と太陽と緑の会月の宮作業所で作業をする様々なハンディーのあるメンバーたちの顔と、NGOモヨ・チルドレンセンターの子ども達の表情を思い浮かべるひと時がありました。大変さのレベルは違いますが、彼らを通して見える背景は、自分自身の中にもある、暗く深い闇と、どこか重なります。ひとりひとりに幸あれ！



青年長期ボランティア歓迎会
当会代表杉浦が料理人として腕をふるいます

お知らせ

太陽光発電による 電力の自給自足達成

NPO法人太陽と緑の会の事務局・作業所兼店舗（新館）の太陽光発電システムを増設し、太陽光発電による電力の自給自足を達成しました。

従来 10.98kw、68 枚パネルのシステムで新館使用電力の約 8 割を太陽光で賄っていましたが、今回 5.04kw、28 枚パネルを追加して 16.02kw、96 枚パネルのシステムになり、太陽光による自給率は年間平均で約 110%に達する見込みとなりました。

自給率 110%ということは、太陽光によって発電した電力のすべてを新館で使用しても余るといことです。

CO₂削減の観点から「原子力発電は環境にやさしいクリーンなエネルギーである」との声も聞かれる昨今ですが、当会は太陽光による電力の自給自足を目指し、10年前から取り組んできました。

前年度の実績では投下資本の回収に 25 年かかる計算になり、経済効率の面では決して割に合うものではありません。しかし、原子力発電や火力発電に頼らず、自分たちの使う電気は自分たちで作る「電力の自立」というあり方があっていいように思います。

発電状況をリアルタイムで示す発電モニターは市民の皆様様に公開しており、タッチパネル操作により発電実績もグラフや表で自由に見ることができます。

-----太陽光発電の軌跡-----

（太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗）
平成 10 年 2 月 1.08kw、8 枚パネル設置
（財団法人イオングループ環境財団から 100 万円の助成）

平成 12 年 9 月 4.06kw、28 枚パネル増設
平成 17 年 2 月、火災により全システムが
損傷・廃棄

平成 18 年 2 月 5.22kw、36 枚パネル新規
設置（柊京セラさんのご好意による 10 年
間保証の適用）

平成 19 年 3 月 5.76kw、32 枚パネル設置

平成 20 年 3 月 5.04kw、28 枚パネル設置

平成 20 年 3 月 31 日現在 16.02kw、96
枚パネル



太陽と緑の会事務局・作業所兼店舗 96 枚の太陽光パネルで電力を自給自足しています

青年長期ボランティア活動開始

4月11日、平成20年度青年長期ボランティアの西村洋平君（山口県出身・21才）が来所、太陽と緑の会でのフルタイムボランティア活動を開始しました。

月の宮共同生活棟で共同生活をしつつ、日中は太陽と緑の会リサイクル作業所にて様々なハンディを持ったメンバーと不用品持ち込みの受付、古紙の積込などの活動に取り組んでいます。

大学を休学して参加してくれた西村君の今後の活躍に期待しています。

また昨年度の青年長期ボランティアの西田昌史さん（鳥取県出身・30才）がアルバイト職員として当会の活動に参加してくれることになりました。

4月26日、月の宮共同生活棟で、青年長期ボランティア西村君と新スタッフの宮浦君の歓迎会を行いました。当会メンバー、スタッフ、ボランティア計23名が参加、徳島の中洲市場で仕入れた海の幸、肉と月の宮作業所でとれたシイタケ、タケノコ、サヤエンドウなどを使った、手作りの手巻き寿司がメインのメニューとなりました。

地元の素材を活用し、準備から片付けまで自前でやることで、お金をかけずに満足度の高い歓迎会にすることができました。

新スタッフ加入

1月28日から当会で活動している宮浦正浩さん（34才・徳島県出身）が、正式に当会の専任スタッフとなりました。当会の事務局建物が3年前に火災で全焼したとき、ボランティアとして関わってくれたことがきっかけとなりました。

現在は不用品持ち込みの対応、電化製品の動作テスト、接客などの仕事を、様々なハンディを持ったメンバーと一緒に取り組んでくれています。細く長く活動に関わってくれることを願っています。

ボランティア体験

3月14日午前9時から午後1時まで、太陽と緑の会にて「NPOボランティア体験」（主催：徳島市市民活力開発センター）を行いました。

このプログラムは市内3か所のNPOで実施、市民活動に関心がある人を対象に、ボランティア体験を通じてNPO活動の一端を感じて頂くことを目的としたものです。

当会でのプログラムには一般参加者2名、センター職員2名の計4名の方が参加しました。



4月19日、20日 2周年記念感謝セール開催
新館商品2割引セール 飲み物サービス

見学・ヒアリング

2月26日、イカのまちづくり推進協議会（島根県西ノ島町（隠岐））の皆様と町役場の担当者の方、計6名が当会を見学のため来所。

3月8日、地元の国府小学校PTA人権教育推進部の皆様と教員の方、計9名の方が、太陽と緑の会リサイクル作業所を見学。

NHKで活動紹介

4月9日、NHKのニュース番組「ニュースとくしま 610」にて、太陽と緑の会の活動紹介をして下さいました。3メートル×6メートルのパラボラアンテナ付き中継車と総勢9名のスタッフが入っての生中継となり、太陽と緑の会エコハウスの紹介、様々なハンディを持ったメンバーの作業風景及びインタビュー（前日収録）、衣料品の選別についての説明などが放映されました。

イベント

2月17日午前10時～午後4時、第4回環境ボランティア交流会が、鳴門地域地場産業振興センター（鳴門市）で開催（主催：とくしま環境県民会議 とくしま環境ボランティア交流会実行委員会）。午前中は鳴門市網干海岸付近の清掃活動を行い、午後には行政、学校、婦人会・商工会、企業の活動報告を行いました。太陽と緑の会からは代表杉浦（実行委員）、スタッフ桑内、メンバー高橋君、小谷君の計4名が参加しました。

2月23日～24日、第7回四国ブロック学習交流会 in とくしまが徳島市内で開催。当会代表杉浦が分科会「小規模作業所の明日は」にて事例発表を行いました。またメンバーの米田さんも第4分科会（本人部会）に参加しました。

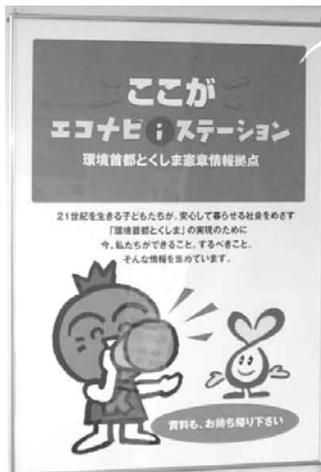
研修・講演・会議

3月1日午後1時～5時、徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会の研修会が徳島市内（ホテル千秋閣）で開催されました。県内の障害者地域共同作業所、地域活動支援センター、個別給付事業所の職員の方などが参加、NPO法人になったことで必要となる県への報告書類及び労務管理に焦点を当てた研修を行いました。太陽と緑の会からは代表杉浦（事務局）及び職員宮浦が出席。

3月20日、徳島大学常三島キャンパスにて、「障害のある子どもの後期中等教育を考えるシンポジウム」が開催。当会代表の杉浦がシンポジストとして出席。

3月29日～30日、市民アクション2008フォーラムストップ温暖化！エコタウン徳島をめざしてーが、基調講演と活動展示の2本立てで開催。当会代表の杉浦は「エコタウン徳島をめざして」と題し、太陽と緑の会エコハウスシステムの実践の事例報告をさせて頂きました。

太陽と緑の会は徳島県より「エコナビ i ステーション」としての指定を受けました。パネル、パンフレット等の配布を通じて、環境情報の発信に努めています。



ボランティア雑感

はじめまして、私は08年度の青年長期ボランティアとして、『太陽と緑の会』に参加させていただいている、西村洋平といます。

徳島にきてからよく道に迷います。鮎喰駅に降り立ち、「いざ太陽と緑の会に向かわん」と歩き出したら警察署へ、月の宮に行こうとバスに乗れば鴨島駅へ。よく道に迷います、今こうして道に迷って徳島にいます。

予定では就職活動の真っ最中でした。なのに、私は休学をしてここにいます。大学では社会福祉を学んでいます。高校も福祉科だったので、かれこれ6年、福祉について学んできたことになります。

この道を選んだ動機は、私がおばあちゃん子だったのが大きかったと思います。6年、福祉を学んで思ったことは「何かおかしいな」ということ。15才の私が見た理想と、21才の私が歩いた現実には大きな隔たりがありました。

太陽と緑の会に迷い込んで、早三週間になりました。これまでの非日常が日常になりかけている今日この頃です。規則正しい生活を送っています。ここにきてから、毎朝、朝食を食べるようになりました。

日々、忙しいです。スタッフもさることながら、メンバーも常に忙しくしてい



宇津 辰則

イラスト 宇津君



平成20年度青年長期ボランティア 西村洋平君

ます。予定外の忙しさです。こんなに人の出入りが激しい福祉現場を見たのははじめてでした。

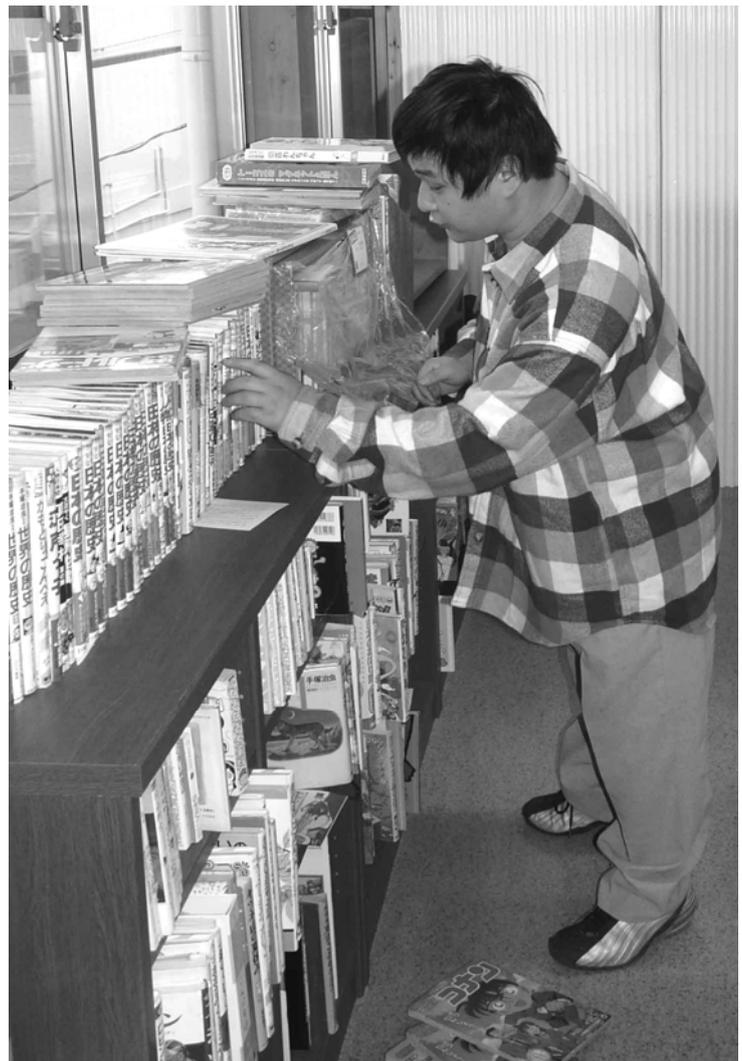
紋切り型に福祉を学んだ私には、「太陽と緑の会」は、いささか刺激が強すぎました。「NPO法人太陽と緑の会」のパンフレットの費用負担の項目には、「保護者会費、施設利用料などの費用負担はありません。障害者自立支援法における利用料負担もありません」とあります。どういうことでしょうか？この問題が、大学の試験に出題されても、答えられる人は、僅かだと。私は、この問の意味を知ったとき赤面しました。

「太陽と緑の会」は、環境と福祉を融合させた、時代の求める、先駆的な取組みをしている場所だと思っていました。随所に古典的な要素が散りばめられていました。

「すごいなあ〜」と思います。伝わりにくい文章だと思います。なので、夏に「太陽と緑の会」の主催で行われるワークキャンプに参加してみてください。実際、すごいです。

今、予定外の寄り道をしています。そこで多くを学んでいます。ここで、私がどうしたいのか見極めたいと思います。結局、予定は未定ですが。

2周年記念 感謝セール



書籍売場の整理

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2008年2月1日～2008年3月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

北岡 弘、喜田 芳文、成瀬、田原 章、住友 豊子、寒川、利夫、成瀬、匿名、森奥
(以下郵便振替口座にご入金下さった方 平成20年2月16日～平成20年4月13日)

太田 歩、徳島市立高校305HR代表笹原勇太、大塚 義晴、竹條 教悟、山崎 和代、姫野 雅義、樫本 淳子、(有)吉野川バラス代表取締役福山秀生、滝倉 和子、平池 紀子、太田 豊、三代田 直明、足立 理八郎

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○松本、長田、平野、鈴木、フォトハラダ、田辺、川村、西林、木村、方上クリニック、東倉、矢野、金山、川野、島浦、松島、日下、山川、徳塾、藪原、ハナブリ、工藤、井上、米田、長谷部、岡本、田中、高橋、岡川、古川、猪子、渡辺、福田時計店、高石、福田、橋本、弘田、美間、金山、内輪、新居、藤田、竹原、長谷川、明石、平松、宇野、猪俣、沖洲放課後クラブ、平岡、森上、村川、金沢、永松、岡沢、パソQ、立石、坂東、沖、佐藤、大西、藤井、江本、福田、山本、小山、斉藤、中西、高木、笠谷、小田、神崎、吉田、藤本、桐本、竹内、大坂、森、市原、早見、木村、増本、吹田、富永、関口、村沢、



情報コーナー

(新館の階段踊り場)

徳島県内外のNPOなどの活動やイベントの情報を掲示しています。

寺重、中川、榊原、ユニオン測量設計、三橋、(株)エーペックス、笠井久住、佐々木、金沢、カンガルー歯科、笹森、林、杉田、立石、宮田、吉岡、山田、長谷川、四国公法社、鈴木、エルダリーガーデン、渡辺、佐藤、満田、川越、山住、白石、坂野、糸林、木元、八万コミュニティセンター、八巻、中野、田原、新見、橋本、久野、南部、家段、松永、生島、阿部、小森、松原、岡田、杉山、河原、金野、国見、尾崎、元木、田口、本田、福良、小倉、黒田、矢野、河野、菅原、長谷部、山本、前川、FC英語教室、○石井町○白石、山口、三木、福原、細井、矢車、中木、坂野、県福祉事業団、林、三河、○吉野川市○松崎、三瀬、西麻植小学校○北島町○桧恒、藤田、寒川○鳴門市○鳴門第一小学校、玉木、船本、中田、江富、久龍、橋本、河野、阿部、岡本○板野町○大野、吉岡、武市○松茂町○久保田

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○古谷、山本、仁木、田中、高橋、富永、生島、谷、金谷、小寺、桑原、松本、稲垣、野村、宮内、木村、生駒、後藤、日下、渡辺、河野、中村、中東、中野、大塚、長楽、近藤、一心運輸、大久保、相原、金沢、浅川、寺内、村上、堀、坂東、福田、東、森本、藤田、井上、吉田、新川、横井、幸田、相原、長谷川、斉藤、桂、川上、日川、三浦、松永、林、藤原、大櫛、正木、田和、森口、門田、西、大川、鍋島、上山、山岡、笹原、張、乙武、宮本、野口、岡田、井貝、南無なむ堂、賀好、久米川、長谷部、山下、石山、谷口、清水、竹本、曾木、久保、山内、和田、奥村、浅野、森口、山城、宮崎、小川、木元、JSセンター、上田、松下、田山、宇野、遠藤、庄野、楠、松田、藤本、樋口、佐々木、泰、木内、部家、杉原、沖津、松尾、日出、中園、井内、中川、日下、荒川、吉岡、大島、明石、大黒、元木、亀谷、野澤、岡山、一橋、高木、野沢、牧、森内、田中、原田、前田、井原、佐藤、笹山、阿部、松永、イワセ、杉井、笠井、大西、松尾、根本、田中、中園、佐賀、早見、岡部、水口、田村、中原、福住、石山、森本、市原、藤原、汀、堀江、坂本、池村、若木、後藤、山口、須見、委託販売の店、岩崎、新居、福田、福永、瀧本、小塚、力安、森上、臼井、木村、村上、梶井、栗本、宇野、原田、土居、山下、阿部、榊原、杉本、中島、阿波商事(株)、岡部、和田、下藤、西浦、齋藤、井原、曾木、豊田、篠原、精木、津田、弘田、山元、浮津、山花、森垣、平尾、西川、長谷川、大西、藤田、木内、八十川、福山、深谷、東、金澤、日下、照屋、田野、吉元、森口、中川、佐々木、三野、小寺、飼場、斉村、住谷、田所、上本、宮内、横山、近江、荒木、笠谷、吉田、内田松村、炭谷、大下、早川、原、梶田、久住、白川、中野、田野、遠藤、庄司、尾形、生田、沖川、大石、猪児、神例、平田、柏、松浦、竹口、羽野、柴田、岩瀬、谷、吉田、加藤、中村、清水、荒川、荒川、川田、種田、長浜、中西、(有)弘進、乾、大下、櫻庭、井元、桑折、市原、楠本、佐藤、坂野、重光、横井、松岡、萬田、象潟、石井、熊川、多田、立花、樋口、武田、東條、藤坂、原田、喜多、矢川、芝、長楽、久米、松月、遠藤、佐々木、野田、小田、渡部、清重、大森、土肥、藤田、橘、坪井、とくしま推進センター、城西病院、木藤、平田、○藍住町○森本、中川、鳥取、前川、古林、横田、河野、三好、中川、目崎、佐々木、北岡、渡辺、大久保、横田、上西、山本、長尾、犬伏、惣田、山本、佐野、西野○小松島市○坂崎、北野、庄野、山下、浜田、○鳴門市○亀井、西村、岡本、岡山、梅本、福永、山本、田中、山口、中川、○阿波市○鳴川、岡田、前田、藤原、森本、鳴川、○石井町○久米、松月、遠藤、佐々木、野田、小田、渡部、清重、大森、土肥、藤田、梶野、橘、坪井、かさい歯科医院、林、多田、坂本、佐原、秋山、兵頭、梶野、深尾、藤本、久保、立川、森下、以西、矢車、近藤、平田、松浦○吉野川市○小山、吉田、片岡、岡田、鎌田、松下、田村、前野、富澤、金子、川野、大久保、三瀬、高鍋、新居、楡木、中西、藤本○阿南市○羽田、西本、阿部、但馬、浜、土倉、内輪○美波町○内原、ポデズワ綾子○北島町○岩瀬、大久保、西岡、鎌倉、清水、長田、間宮、森○神山町○大北、河野、香川、中原、○板野町○上田、高橋、佐野○美馬市○大西、檉葉、○松茂町○森、中野○佐那河内村○植松○上勝町○田中、加藤○上板町○快樂、楠、佐野、安芸○つるぎ町○吉田○海陽町○神沢○美波町○尾田○愛媛県○濱田○広島県○泉川○神奈川県○石黒○東京都○本田○京都府○藤原

編集後記～2周年を迎えました～

4月19日、20日の2日間、2周年記念感謝セールと銘打ち、新館商品2割引セール、飲み物（コーヒー、緑茶）・キャンドィサービスを行いました。

ハンディを持ったメンバーも「皆様のおかげで2周年を迎えることができました」とハンドマイクでアナウンスをしたり、「コーヒーいかがですか」とお客様に声をかけてコーヒーをお出ししたり、と緊張しつつも一生懸命取り組んでいました。メンバーの米田さんとスタッフの宮浦君による、5分間に渡る詩の朗読とギターのコラボレーションも行いました。

ゼロからの再出発で試行錯誤の連続でしたが、ここまで歩むことができたのも、ひとえに市民の皆様のご支援、ご協力によるものと感謝しております。

2年間、商品の品質の向上と、店内の陳列・清掃に重点を置き、市民の皆様にも少しでも気持ちよく買い物して頂けることを目指してきました。火災前の暗くて雑然とした店舗のときには何となく入りにくかった方にも、気軽に利用して頂ける場所になったかと思えます。

またリユース率の向上とごみの減量を目指し、格安品コーナー（50円均一コーナー）を設置し、ゴミ袋詰め放題セール（衣類1袋100円、食器・雑貨1袋300円）も定期的に行ってきました。純粋に経営効率という観点から見ればマイナスなのかもしれませんが、一般の営利目的のリサイクルショップさんではやらないからこそ、太陽と緑の会がやる意味があるかと思えます。

この4月から食料品を始め、生活必需品の物価が大きく上昇しています。ガソリンにかかる揮発油税等の暫定税率が復活する直前には、ガソリンスタンドで行列ができていました。ニュースで伝え聞く物価上昇率の数字は、庶民の生活実感とはかけ離れているように思います。

リユース品を上手に活用し、限られた収入の中で生活を楽しむ。右肩上がりの経済成長を前提とした時代が終わった今、そのようなライフスタイルがあってもいいかもしれません。（小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域活動支援センター・地域共同作業所とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々（市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っています。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054
（不用品リユース・地域活動支援センター）
URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>
E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎
編集サポート 岡田 郁子
年会費：正会員1万円 準会員1,000円
郵便振替口座：01620-8-44703
※この機関誌は再生紙を使用しています。